

# 道徳教材 「二通の手紙」を読んで

## 関中だより

平成31年  
1月25日  
第32号  
(文責 花岡)

### ルールには何かしらの意味がある

#### （1年生徒）

・僕は、子どもたちに従業員をつけなければ良かったの  
 と思いました。ルールには何かしらの意味があると思  
 うので、子どもたちにはかわいそうだけれどルールはし  
 っかり守るべきだと思います。  
 ・私も元さんのような立場になったとき、子どもを入  
 れてしまうかもしれないですね。けれど、子どものためを  
 思ってしまうのも大切なんだと思います。私も  
 ・ほくも良かれと思っちゃったことでもルールを破る  
 ことになり、失敗したことがあった。

・だれかのことを思って  
 やることも、一人で判断  
 するのではなく、相談し  
 て問題を解決することが  
 大切だと思った。



### なぜそのルールがあるのかを考える

#### （1年保護者）

・元さんの優しさが、何も起こりはしなかったが間違  
 えれば大きな事故につながる出来事であった。なぜそ  
 のルールがあるのかということも知ることが重要だと  
 感じた。  
 ・元さんの幼い姉弟への臨機応変な対応は、人間的な  
 優しさに溢れているが、姉弟が取り返しのつかない  
 事故にあう可能性もはらんでいました。元さんの人間的な  
 優しさに感謝する姉弟の母親の手紙と、安全に配慮す  
 べき立場としての処分を受け入れ、自身と動物園の種  
 にする元さんに感謝した。  
 ・このルールは何のためにあるのかを考えることが大  
 切。社会にでると小さなことでもルールを破ると責め  
 られたり、責任を取らなければいけない現実もある。

### その優しさが事故に・・・

#### （2年生徒）

・自分の独断でダメなことを許可するのはいけないと  
 分かった。あの子ども二人に飼育員一人がついていけ  
 ばよかったのではないかな。  
 ・元さんの気持ちはとてもわかるし、もし僕がそうい  
 う立場であつたらそうしていたかもしれない。でもそ  
 の優しさが事故につながっていったかもしれないので、  
 きまりを守った上で適切な対応を取らなきゃいけない  
 と思った。  
 ・規則を守ることの大切さが分かりました。規則を守  
 らないと大きなことになるので、しっかり考えて規則  
 は守るべきだと思います。

### どちらが正解というのはむずかしい

#### （2年保護者）

・規則について、これは厳守すべきことであると考え  
 ます。状況を察すれば人情的には元さんの判断もわか  
 らなくもありませんが、結果最悪の事態に陥っていた  
 可能性もあります。状況判断は幾度となく子どもたち  
 にもあり得ることだと思いますが、今回の話を思い出  
 し何故に規則が重要なものであるかを考え感情で判断  
 することなく行動に移して欲しいです。  
 ・決められたルールがある以上、ルールに従うのが当  
 然だとは思いますが、ルールを破ることで他者にどんなも  
 の迷惑をかけることになり、その責任は大きい。自分  
 を守るためにもルールを守ることが大切だ。ただ、今  
 の世の中もう少し融通がきいても良いと思う。子ども  
 の母親の感謝の言葉に救われる内容でした。

・元さんの思いも動物園の思いもどちらも分かるので  
 どちらが正解というのは難しいと思います。いつも  
 現場を見つけていた元さんや他の係の人たちからした  
 ら、姉弟の思いを叶えてあげたいと思った気持ちは、  
 姉弟やお母さんたちには伝わっていると思うし、姉弟  
 にとってもはきつと忘れられない一日になったと思いま  
 す。その反面、入園者の安全を守る立場の動物園から  
 すれば、一つの例外をつくってしまう危険やこわさは  
 見過ごせない部分であった事も仕方ないのではと思  
 います。ならば、どうすれば良かったか。やっぱりコ  
 ミュニケーション、連携をとっていく大切が必要で  
 あったのかなとも考えさせられました。この出来事を  
 きっかけに同じ事を繰り返さないために、元さんの処  
 分を無駄にしないようにすることで元さんにも姉弟に  
 も、そして処分を出した動物園にも明るい先が見える  
 のかなと思いました。

### どちらの気持ちも理解できる

#### （3年生徒）

・どちらの気持ちも理解できると思いました。元さんの行  
 動は人として素晴らしい行動だと思います。元さんの優しさ  
 を感じました。しかし、職員として、雇われている人として  
 は無責任な行動だと感じます。一人でも一団体でもその行為  
 を許し中に入ってしまうことはその動物園全体の信用にかか  
 わります。どんなことがあっても「許してはいけない」こと  
 だったのではないかなと思います。「働く」ということは、そ  
 の時その時の「気持ち」で行動するということではなく、そ  
 のだて改めて感じました。  
 ・この物語を読んだら、前に授業でしたスピード違反の話と  
 少し似ていると思いました。いろんな事情があるけど、決ま  
 っている事は必ず守らなければいけない、きまりというの  
 は人の安全を守るためにもあるという事が分かりました。最初  
 の佐々木さんの行動は前にあった元さんのことがあったから  
 止められないものだと思います。先輩がした事をもう一度し  
 たくないと思ったからなのかなと思います。

### 規則とは何のためにあるのか考えさせられた

#### （3年保護者）

・元さんの幼い姉弟への臨機応変な対応は人間的な優しさに  
 あふれているが、姉弟が、取り返しのつかない事故に遭う  
 危険性もはらんでいました。元さんの人間的な優しさに感謝する  
 姉弟の母親の手紙と、安全に配慮すべき立場としての処分を  
 受け入れ、自身と動物園の種とする元さんに感謝した。  
 ・社会に出ると必ずルールというものがある。当然ルールは  
 守るべきものではあるが時にはそのルールが現実とそぐわな  
 い場合や変更すべきものである場合も少なくない。そのような  
 場合は何が一番大事なことかを考えルールを変えることも  
 必要なのかもしれない。今回のことはお客様のことを大事に  
 すること、安全面を考えたうえで園としてこの場合どこま  
 で許されるかをみながら考えてみる機会にしてはどうだろう  
 か。社会に出るとルールを守ったうえで柔軟な対応が求めら  
 れることになります。  
 ・元さんはとても情のある優しい方というのが伝わってきま  
 した。しかし、今回勝手な判断で、子どもたちに何かあつた  
 ら、感謝ではなく、責められていたかと思えます。良かれと思  
 った事がみんなを不幸にしていたかもしれないと思うと、規  
 則とは何のためにあるのかを改めて考えさせられました。